

<p>1-4 複素定数 (complex constant)</p>	<p>複素数を表現する定数である。複素数は実部と虚部より成り立っているが FORTRANでは、この定数を表現するのに2つの実定数を用いる。すなわち、複素数の実部、虚部をこの順に実定数として書き、それをコンマで区切り、全体をカッコでくくったもの、これが複素定数である。</p> <p>[例]</p> <p>(1.23,3.468) 1.23 + 3.468i (-12.,.004E2) -12.0 + 0.4i (0.,-1.5) -1.5i (+2.36E-1,0.0036E+2) 0.236 + 0.36i</p>
<p>1-5 論理定数 (logical constant)</p>	<p>論理定数とは、真か偽の値を与える定数で、つぎの2種類がある。</p> <p>1. .TRUE. 真 2. .FALSE. 偽</p>
<p>1-6 文字定数 (Hollerith constant)</p>	<p>文字定数とは、整定数 n ($n \geq 1$) のうしろにHを書き、そのあとに n 個の文字を書いたものである。この場合の空白は意味をもつ。</p> <p>[例]</p> <p>4 H□AB = 4HABCD 8HFUKUSIMA</p> <p>文字定数は、DATA文、CALL文の引数の中にだけ書くことができる。</p>